

該当するもの以外は二重線で消してください。

揮発性有機化合物排出施設設置~~（使用、変更）~~届出書

提出日を記載してください。

令和△□年○△月○□日

群馬県知事 へ

令和2年12月28日から押印及び押印に代わって行うことが可能とされていた署名は不要となりました。

住所 〒371-8570

個人の場合は、住所
法人の場合は、登記されている本店又は
主たる事務所の所在地を記入します。

ふりがな

群馬県前橋市大手町1

届出者

名称 群馬県庁工業株式会社

代表取締役社長 群馬 太郎

大気汚染防止法第17条の5第1項~~（第17条の6第1項、第17条の7第1項）~~の規定により、揮発性有機化合物排出施設について、次のとおり届け出ます。

| | | | |
|-----------------|-------------------------------------|--------|-------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 〇〇株式会社 △工場 | ※整理番号 | こちらの欄は記入しないでください。 |
| 工場又は事業場の所在地 | 〒370-5678 〇〇市〇〇町〇〇番の〇 | ※受理年月日 | |
| 揮発性有機化合物排出施設の種類 | 第6項 印刷用乾燥施設 オフセット輪転印刷に限る (2基) | ※施設番号 | |
| 揮発性有機化合物排出施設の種類 | 別紙1のとおり | ※審査結果 | |
| 揮発性有機化合物排出施設の種類 | 別紙2のとおり。 | ※備考 | |

施行令別表第1の2の項番号及び種類を記載してください。
施設が複数ある場合は、施設数(基数)を記載してください。
項番号が異なる施設はそれぞれ届出が必要です。

の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2に掲げる項番号及び名称を記載すること。

- ※印の欄には、記載しないこと。
- 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前の内容を対照させること。
- 届出書及び別紙の様式の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 排出ガスを処理施設において処理していない場合には、別添2の届け出は必要ない。

揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法

| 工場又は事業場における施設番号 | | 第 1 号乾燥機 | 第 2 号乾燥機 |
|---|------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 名 称 及 び 型 式 | | オフセット印刷消臭乾燥機 ○○株式会社製 ○○○○○-○型 | オフセット印刷乾燥機 ○○株式会社製 ○○○○○-○型 |
| 設 置 年 月 日 | | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 着 手 予 定 年 月 日 | | 令和○年○月○日 | 令和○年○月○日 |
| 使 用 開 始 予 定 年 月 日 | | 令和○年○月○日 | 令和○年○月○日 |
| 規 模 | 送風機の送風能力 (m³/h) | 16,500 | 7,500 |
| | 排風機の排風能力 (m³/h) | | |
| | 揮発性有機化合物が空気と接する面積 (m²) | 施設の種類に応じて必要となる事項を記載してください。 | |
| | 容 量 (KL) | | |
| 1 日の使用時間及び月使用日数等 | | 8 時～ 20 時 12時間/回 1回/日 20日/月 | 8 時～ 16 時 8時間/回 1回/日 20日/月 |
| 排 出 ガ ス 量 (m³/h) | | 15,700 | 7,000 |
| 使用する主な揮発性有機化合物の種類 | | トルエン、キシレン | 軽油成分 |
| 揮 発 性 有 機 化 合 物 濃 度 (容量比 ppm (炭素換算)) | | 150 | 200 |
| 参 考 事 項 | | | |

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第 1 の 2 の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 揮発性有機化合物排出施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。
- 4 排出ガス量は、湿りガスであって、最大のものを記載すること。
- 5 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が 1 気圧の状態における量に換算したものとする。
- 6 揮発性有機化合物排出施設が貯蔵タンクである場合には、排出ガス量の欄には記載しないこと。
- 7 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
- 8 揮発性有機化合物濃度は、揮発性有機化合物の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
- 9 参考事項の欄には、揮発性有機化合物の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、揮発性有機化合物の排出抑制のために採っている方法（排出ガスを処理施設において処理しているものを除く）等を記載すること。

揮発性有機化合物の処理の方法

| | | | | |
|-----------------------------------|--|----------------------------------|----------|---|
| 揮発性有機化合物の処理施設の工場又は事業場における施設番号 | | 第 1 号脱臭装置 | | |
| 処理に係る揮発性有機化合物排出施設の工場又は事業場における施設番号 | | 第 1 号乾燥機 | | 処理施設の種類を必ず記載してください。 例: 活性炭吸着装置 低温プラズマ脱臭装置 蓄熱接触燃焼装置 |
| 揮発性有機化合物の処理施設の種類、名称及び型式 | | 触媒酸化式脱臭装置 ○○○○社製 型式: ○○-○○ | | |
| 設 置 予 定 年 月 日 | | 年 月 日 | | 年 月 日 |
| 着 手 予 定 年 月 日 | | 令和○年○月○日 | | 令和○年○月○日 |
| 使 用 開 始 予 定 年 月 日 | | 令和○年○月○日 | | 令和○年○月○日 |
| 処 理 能 力 | 排 出 ガ ス 量(m ³ /h) | | 8, 0 0 0 | |
| | 揮 発 性 有 機 化 合 物 濃 度 (容 量 比 p p m (炭 素 換 算)) | 処 理 前 | 2, 0 0 0 | |
| | | 処 理 後 | 1 5 0 | |
| | 処 理 効 果 (%) | | 9 2 . 5 | |

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 排出ガス量は、湿りガスであって、最大のものを記載すること。
 - 3 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
 - 4 揮発性有機化合物排出施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。